

# 眼科医連盟ニュース

2007年12月21日  
 第23号  
 発行  
 日本眼科医連盟  
 〒105-0014  
 東京都港区芝 2-2-14  
 一星ビルディング7階  
 (社)日本眼科医会内  
 ☎03(5765)5121

## この一年を振り返って(国政報告)

参議院議員 西島英利



いよいよ年の瀬も間近になって参りましたが、会員の先生方には日々の診察、地域医療活動にご多忙のことと拝察申し上げます。

先生方の絶大なご支援により国政に送り出させていただきました。当初より私の国政における活動に対し深いご理解と絶大なご支援を頂戴しておりますことに心より感謝申し上げます。厚く御礼を申し上げます。

年頭の通常国会は、昨年の医療制度改革関連法成立で積み残しとなり、地域の医療現場に大変な混乱を引き起こしております。七対一看護の問題や療養病床転換の問題、リハビリ日数制限の問題等を追及し、早急に改善策を打ち出すよう強く求めることから始まりました。これらの政策は全て医療費削減ありきで議論をはじめ、議論のほとんどがデータの分析も都合のいいように作り変えられており、さらに事前の環境整備をきちんとしていないまま拙速に実行されたものでした。

とにかく役所の出してくる数字は、政策誘導にいいように見せ方を操作されていますので、十分注意して生のデータからある必要が多々あります。そもそも医療費の抑制策の根拠とされている国民医療費の推計値自体が、様々な制度改革の影響を適切に試算していない不適切な数字です。療養病床削減の根拠とされた中医協診療報酬調査専門組織・慢性期入院医療の包括評価調査分科会のデータも、後に同分科会から『当分科会に對

して要請された事項は、患者に係るコストに着目して医療区分、ADL区分を設定することであった。しかし医療区分1に関して入院医療を必要としないという政策判断がなされ、診療報酬についてもコストに見合わない点数が設定されていることについては、当分科会として大きな疑問を呈さざるを得ない」と報告されていたのです。先日も中医協の医療経済実態調査(平成十九年六月実施)で、いかにも一般診療所や有床診療所が増収に

なっているかのようなデータを出していましたが、わずかなサンプル数で平均値をとるという統計学的にも問題な手法で行われた現実と乖離した数字です。このような問題はその都度繰り返し指摘をいたしました。

通常国会中盤の五月九日には、参議院本会議で、自由民主党及び公明党(与党)を代表して「いわゆるパートタイム労働法改正案」について代表質問を行い、初登壇を果たしました。政権を担当する与党として責任ある発言を行いたいと考え、あえて「こうした現状を格差ととらえて批判するだけでなく、むしろ、こうした厳しい状況下で均衡処遇を推進するために積極的に関与する事業主などを国がしっかりと支援していくことこそが重要である」との文言でその決意を表現いたしました。

終盤は大荒れに荒れ延長となった通常国会が閉幕となった途端、天下分け目の参院選に突入し、吹き荒れる逆風の中、国民医療を守るため国政の場でタッグを組んで活動していただきました武見敬三前参議院議員の三選に向けて全国行脚の毎日となりました。選挙の最大の争点といわれていました「年金記録問題」では国

の進歩には目ざましいものがあります。しかしながら、現実はどうでしょう。医療崩壊、医師不足、医療難民等の言葉が相次いでおります。政治家の中に社会保障に対する大きな哲学、すなわち医療を含む社会保障は数少ない聖域であるというところ、日本は先進国の中でもGDPに占める医療費は二位(二〇〇四年)とむしろ低いこと、その割には、高い水準の医療を維持しているという認識を持つ人が少ない。また医療は、過度の官僚支配や、経済原則に馴染まない。その為に公的な資金を当用すべき聖域の一つであるというような主張をする政治家が少なくなってきたこととあります。連盟の基本も、このような政治家を増やすことにはなりません。

さて、参院選の結果、参議院では野党民主党が第一会派となり、与野党のねじれた難しい臨時国会が召集となりました。この九月の党役員人事で、自由民主党国会対策委員長を拝命し、衆参全体の国会運営を担当することにいたしました。担当委

からいただいた保険料ではなく、広く国民全体から徴収している血税で賄うという付け替え法案であり、一般財源もシロリングで医療費の抑制など国民の生命に関わる本来削減が不可能なはずの分野にまで及んでいる近年、どこからその財源を確保するのかの具体策がない空洞法案であることを明らかにしました。政権を担当する責任ある立場の与党としては、到底受け入れられないものではないので反対をしましたが、多数を占める野党により可決されました。

肝炎対策についても、私は与党肝炎対策に関するプロジェクトチームの委員として、財政的裏付けも図りながら地に足のついた議論を重ね、「新しい肝炎総合対策の推進について―肝炎治療七カ年計画―」を取りまと



国会で質問する西島議員

## 委員長挨拶

三宅謙作



日本眼科医会の皆様には、日頃眼科医連盟の活動に熱心なご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

まずは、七月の参議院選挙において、武見敬三前参議院議員の三選が実現できなかったことに触れなくてはなりません。日本眼科医連盟としましては、今回の選挙はもちろん重要なものと位置付け、日本医師会と綿密な連携をとり、その指示を仰ぎました。その結果として、細部

にまで行動プランを定め、候補者にも代議員会で演説の機会を与え、努力したのであります。しかしながら、武見候補の後援会名簿獲得数八万五千余に對して、その得票がその二割程度にとどまりました。これには、消えた年金問題、現職閣僚による不適切な発言や事務費処理に關与する経理処理問題などが表面化し、自民党に対する大きな失望感が一般国民にあったこと

は言うまでもありません。これに加えて、我々個々の医師会員がどの程度、この選挙に努力したかを、もう一度自問自答してみることがあるかと思えます。

武見候補は、過去十二年間に亘り、国政の場で大きな役割と実績を示してきました。すなわち、いち早く社会保険庁の問題に切り込み、また混合診療や医療費の総額管理導入論に對し、自民党の党是に背くかたちで、運動をしてこられたことは周知のとおりであります。

現状をみますと、武見候補を落としたことは、ますます医療、医師の立場を弱くしております。説明するまでもなく、背景には、医学/医療の著しい進歩があり、これは仕事の量を増やし、関連するマンパワーを増やし、当然のことながら医療費は増加する

のであります。しかしながら、現実はどうでしょう。医療崩壊、医師不足、医療難民等の言葉が相次いでおります。政治家の中に社会保障に対する大きな哲学、すなわち医療を含む社会保障は数少ない聖域であるというところ、日本は先進国の中でもGDPに占める医療費は二位(二〇〇四年)とむしろ低いこと、その割には、高い水準の医療を維持しているという認識を持つ人が少ない。また医療は、過度の官僚支配や、経済原則に馴染まない。その為に公的な資金を当用すべき聖域の一つであるというような主張をする政治家が少なくなってきたこととあります。連盟の基本も、このような政治家を増やすことにはなりません。

近年、情報公開を背景として日本の政治も大きな変革にさら

なっています。連盟活動も当然のことながら、国民目線に合致したものであり、公明正大に行うことが基本になります。わかり易く、コンタクトレンズ問題を例にして述べれば、会員の皆様方には色々な要望事項があることはよく分かります。しかしながら、現時点では、例えば、現状でCL診療の自費診療への移行は国民の目の健康という観点から、にわかに行うことは問題が多いという説明を、連盟活動においても現在中心テーマとして説明しているところであり

ます。

連盟活動はどのような形で行われるのが適切であるのかという問題も含め、今後活発な議論が行われることを期待しております。

以上のように、多忙極める毎日でしたが、私個人としてはこの一年様々な体験から大いに勉強をさせていただき国政に携わるものとしてかなり力がつけたのでないかと自負しております。これもひとえに絶大なご支援ご指導をいただいたお申し上げでございます。

来年も、先生方のご期待にお応えすべく引き続き医療現場の代弁者として全力を傾注して参る決意でございますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

結びにあたりまして、日本眼科医会ならびに日本眼科医連盟の益々のご発展と、会員の先生方のご健勝とご活躍、そして良き新年を迎えられますよう心より祈念申し上げます。

以上のように、多忙極める毎日でしたが、私個人としてはこの一年様々な体験から大いに勉強をさせていただき国政に携わるものとしてかなり力がつけたのでないかと自負しております。これもひとえに絶大なご支援ご指導をいただいたお申し上げでございます。

来年も、先生方のご期待にお応えすべく引き続き医療現場の代弁者として全力を傾注して参る決意でございますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

結びにあたりまして、日本眼科医会ならびに日本眼科医連盟の益々のご発展と、会員の先生方のご健勝とご活躍、そして良き新年を迎えられますよう心より祈念申し上げます。

第二十一回参議院議員選挙 (平成十九年七月二十九日)を省みて

監事 鬼木 信乃夫



ご承知のように、さる七月二十九日(日)に行われた第二十...

者が続出して格差社会現象が出現したことも大きな要因とな...

六年前(平成十三年七月・武見敬三候補)が、二十二万七千票...

と東京その他ブロック推薦の唐澤祥人現会長の対立)と、その後のギクシャクした経過(西島...

日本眼科医連盟の活動にご理解を頂き、また会費納入にご協...

眼科医連盟 会費納入のお願い

☆通常会費 一万円

会計責任者 福下 公子

強会の費用等として使われていから寄せられた会費・寄付等が適正に運用されるよう努力する所存です。なお、会費の納入にご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成18・19年度 日本眼科医連盟役員名簿

Table with columns: 役職 (Position), 氏名 (Name), 摘要 (Remarks). Lists board members including Chairman Mitsunobu Oniki and various directors.

連盟監事に就任して

監事 岡田 日出男



今期より、日本眼科医連盟監事に就任いたしました、大阪府眼科医会の岡田日出男です。

一同一丸となって活動しております。日本の医療及び眼科診療の抱える問題は、多岐に渡っていま...

の問題等、枚挙にいとまがありません。眼科診療については、眼科診療報酬の問題、コンタクトレン...

い、いろいろな分野での改革を実施し、社会保障制度の分野でも、「聖域なき改革」として、医療費の総枠を削減すると共に、患者負担増を行いました。

い出せるのではないのでしょうか。コンタクトレンズ診療においても、コンタクト診療費の包括により、本来の眼科診療にまでその影響が及んでいます。

平成十八年度会計報告

日本眼科医連盟の平成十八年度(平成十八年一月一日〜十二月三十一日)の収支状況を報告いたします。

平成18年度日本眼科医連盟 収支報告書 (自H18.1.1〜至H18.12.31). Table showing income and expenses with totals.